

研究課題名：ICU における眠剤の定期処方に関する実態調査(one-day prevalence study)

研究責任者：京都大学医学部附属病院 初期診療・救急科 助教 高谷 悠大

共同研究機関：

愛媛大学医学部附属病院、岐阜大学医学部附属病院、群馬県立心臓血管センター、公立豊岡病院但馬救命救急センター、大分大学医学部附属病院、野江病院、京都医療センター、和歌山県立医科大学附属病院、大津赤十字病院、北海道大学病院、福岡大学病院、岩手医科大学附属病院、安曇野赤十字病院、秋田大学医学部附属病院、国立病院機構仙台医療センター、旭川医科大学病院、日本医科大学多摩永山病院、日本医科大学武蔵小杉病院、横浜市立大学附属病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、健和会大手町病院、東北大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、筑波大学附属病院、済生会宇都宮病院、兵庫県立西宮病院、船橋市立医療センター、京都府立医科大学、慈恵会医科大学、横須賀市立うわまち病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、佐久総合病院佐久医療センター、日本海総合病院、防衛医科大学校病院、中部労災病院、神戸大学医学部附属病院、榊原記念病院、静岡医療センター、成田赤十字病院、南和歌山医療センター、和歌山労災病院、広島大学病院

当院研究責任者(役職)：仮屋 茜(看護師)

所属(診療科)：特定集中治療室

研究期間：倫理審査承認後～2025 年 1 月 31 日

研究目的・意義:集中治療室において定期的な眠剤の処方の実態の調査を目的とします。せん妄の発症状況も調査することで、定期的な眠剤処方とせん妄発症との因果関係を明らかにします。ICU での眠剤の使用状況に関する報告はこれまでになく、大変重要な研究です。本研究の結果次第では、ICU での定期的な眠剤処方による睡眠・覚醒サイクルの改善、せん妄発症の予防を検証する研究に発展する可能性があります。

研究内容：

- 対象となる患者：2024 年 2 月 20 日、3 月 5 日、3 月 19 日に、京都大学医学部附属病院および共同研究機関の ICU に入室している患者さん
- 利用する情報/資料：患者さんの情報を診療録から抽出します。

●研究方法：ICU 病日、年齢、性別、BMI、SOFA スコア、敗血症の有無、COVID-19 の有無、術後の有無、呼吸療法の有無、人工呼吸管理の有無、循環補助の有無、留置デバイスの有無、身体抑制の有無、せん妄の有無、眠剤の有無と種類、鎮静薬の有無と種類、夜間の覚醒レベル、鎮痛薬の有無と種類、早期リハビリテーションの有無、日中の活動レベル、家族面会の有無です。患者さん個人の特定につながる個人情報（例えば、名前、生年月日など）は含まれておりません。

問い合わせ先：

【当院研究担当者】

氏名：仮屋 茜

住所：238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）

【研究課題ごとの相談窓口】

京都大学医学部附属病院 初期診療・救急科 高谷 悠大

(Tel) 075-751-4210 (E-mail)takataniyu@kuhp.kyoto-u.ac.jp